



相島区大運動会 『限界突破～本気でアツくなれ！！～』

秋晴れの空の下、10月5日（日）に令和7年度 相島区大運動会が盛大に開催されました。今年のスローガンは、「限界突破～本気でアツくなれ！！～」。児童・生徒たちは日頃の練習の成果を発揮し、笑顔と声援に包まれながら、元気いっぱいに競技に取り組みました。



※生徒たちの感想を一部抜粋して紹介します。

- ・最後の相島での運動会を悔いなく終えるため、練習から本番まで全力で取り組みました。走順やバトンパスを工夫し、チームで協力して競技に挑みました。開閉会式では礼儀や動きのタイミングに気を配り、小学生の手本となるよう意識して行動しました。自分の最大限を発揮して、最後の運動会に本気で臨むことができました。（3年咲希）
- ・今回初めて、小中合同の行事で白組のリーダーを務めることになり、とても緊張しました。普段から小学生と積極的に関わっているわけではなかったのも、プレッシャーもあり少し怖さも感じていました。それでも、啓史くんや1・2年生、小学生のみんなが支えてくれたおかげで、気を負いすぎずに自分の役割を果たすことができました。（3年栞）
- ・今回の運動会はとても楽しく、地域の方と踊ったり、保護者の競技を応援したりする中で、多くのつながりを感じることができました。しおりさんが気付かなかった部分には私が声をかけ、助け合いながら取り組むことができました。競技後には「おつかれ」と声をかける習慣も身につけ、仲間との絆を深めることができました。（3年啓史）
- ・練習では、限られた時間の中でできることを考え、行動することを意識しました。リレーや「つながる相島」の実演後には、チームで課題を出し合い、意見をもとに改善を重ねました。本番では、練習の成果を発揮して競技に全力で取り組み、応援にも積極的に参加しました。3年生として、仲間を引っ張りながら支えることができました。（3年瑞希）
- ・みんなと協力して全力を尽くし、勝利の喜びと達成感を味わうことができました。（2年佑都）
- ・ルールを守って競技に取り組み、仲間の競技中には応援をしながら、係の仕事内容も覚えて自分の役割をしっかりと果たすことができました。（2年唯）
- ・自分が出ない競技も紅白の得点となるため、一生懸命応援し、練習では小学生とバトンパスの確認やアドバイスをし合いながら取り組むことができました。（2年真瑠奈）
- ・運動が得意な子も苦手な子も、互いに認め合い相談しながらチームづくりに取り組むことができました。今後、島の方々に恩返しができるように頑張りたいです。（2年楓子）
- ・リーダーのサポートができるよう、小学生への声かけなどを積極的に行い、本番でも自分にできることを考えて行動することができました。（1年愛菜）
- ・自分の仕事を終えたあと、他の人の手伝いにも積極的に取り組むよう心がけました。次に何をすべきかを考えて行動できたのもよかったです。（1年こあ）
- ・小学生との絆が深まり、ふざけ合える関係になりました。あまり話したことのない人とも交流できてうれしかったし、全力で楽しめたことが一番の思い出です。（1年萌花）
- ・綱引きの3回戦や障害物リレーで勝ったとき、みんなで大喜びしてすごく楽しかったです。練習のときから笑顔がいっぱいだったのがすごくいいなと思いました。（1年直輝）

